

アダプトプログラム

の仲間たち

vol.2

宮下ファミリー



「近所の方にとっても、気持ちのいい風景を」

こうおっしゃる宮下ファミリーさんの活動をご紹介します
しましょう♪

Q. 活動内容は？

A. 自宅周辺のごみ拾いや、草花の剪定を行っています。道路脇の草花は、自分で植えて育てたもので、20年ほど前から始めて、ほぼ毎日活動しています。

Q. きっかけは？

A. ご近所の方の通り道にもなっているので、少しでもきれいなほうが、自分にとってもみんなにとっても気持ちいいのではないかと感じてごみ拾いを始めたのがきっかけです。今はそれだけではなく、花を植えて、近所の方々に気持ちのいい風景を届けるために頑張っています。

Q. 活動をやってよかったことは？

A. ご近所の方に、「この花きれいですね」「この辺はごみが落ちてなくて気持ちがいいわ」と言ってもらえたときには、この活動をやってよかった、自分の活動がご近所の方のためになっているなど嬉しく思います。

また、自宅周辺のささやかな活動ですが、大府市がきれいになっている、大府市のためになっているというこ

とも、この活動をやってよかったと思う点です。

Q. 大変だったことは？

A. 特にはありません。ないからこそ、20年間ほぼ毎日続けることができているのだと思います。

また、続けてこられた理由は、「自分のためだけではなく、ご近所の方のためになっている」と感じられることです。「自分のためだけではない」ということが活動を続ける力になっています。

これからも、自分にとってもご近所の方にとっても気持ちのいい風景とするために、続けられる間はこの活動を続けていきたいと思っています。



■アダプトプログラム（公共施設養子縁組制度）

アダプト(ADOPT)とは、英語で「養子にする」の意味。公共の道路や河川、公園などを養子にみだて、市民がわが子のように愛情を持って清掃美化する活動のこと。大府市では2002年に始まり、現在87団体が活動に取り組んでいます。